

社会福祉法人カリタスの園 ドンボスコ保育園 様

宮崎県社会福祉サービス
第三者評価結果書

令和 2年 3月30日

評価機関名

特定非営利活動法人みやざき保健・福祉サービス評価機構

宮崎県社会福祉サービス第三者評価結果書

評価完了日：令和2年3月30日

評価機関：特定非営利活動法人みやざき保健・福祉サービス評価機構

1 第三者評価結果の概要

(1) 施設・事業所情報

施設・事業所名	ドンボスコ保育園	種別	保育所
代表者氏名	園長 竹内 和代	定員 (利用人数)	100名
所在地	宮崎県宮崎市波島2丁目8-36	TEL	0985-22-2201
		FAX	0985-22-2257
ホームページ	www.m-caritas.jp/donboscomy		

(2) 評価結果

① 特に評価の高い点

利用者のニーズに迅速に対応しているところや、保護者との応答的な関わりを大切に積み重ねてこられています。法人の理念はゆるぎない柱として、全施設と共有してあり、職員全体に周知化されています。保護者への説明責任も丁寧に行われて、特に育ってほしい10の姿や権利擁護に関しての意思が入所時にわかるようになっていたところです。

② 改善が求められる点

職員の経験年数に応じた明確な役割分担と、様々な責務の機会を与えられて、活躍できる場の提供を組織的に取り組まれることを望みます。近隣の交通事情が複雑なことから、園外における防災の取り組みに期待します。

③ 評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受審し、自園の強み・弱みを把握することができた。また、各職員で分担して自園の分析を行うことで、保育の課題やマニュアルの不足点などに職員全体で気付くことができる良い機会となった。今後は改善計画をもとに、職員一同で検討・実践・最適化を積み重ねていくことで、保育の質の向上へと繋がっていくのではないかと感じている。

2 施設・事業所情報

経営法人・ 設置主体	社会福祉法人カリタスの園
開設年月日	1955年11月1日（昭和30年11月1日）
理念・基本方針	<p>社会福祉法人カリタスの園 理念 「カリタスを生きる」 社会福祉法人カリタスの園は「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」とのキリスト・イエスの「み言葉」に基づき、カリタス（愛・やさしさ・あたたかさ）の実践により、一人ひとりが大切にされる社会を実現するために創設された。この趣旨を基に、次のとおり基本方針を定める。</p> <p>①利用者の願いや人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスの提供 ②地域に開かれた、安心と信頼で結ばれる、施設・事業の運営 ③職員の人格の円熟、専門的知識と技術の向上</p>
事業内容	保育所
職員数	常勤職員数 17名 非常勤職員数 12名
専門職	（専門職の名称） 保育士 22名 看護師 1名 看護師 1名 嘱託医 2名 調理員 3名
施設・設備の概要	敷地面積 2,082.82㎡ 建物面積 ㎡ ・保育室 7室 ・給食室 ・沐浴室 ・調乳室 ・応接室 ・事務室 ・職員休憩室 【屋外設備】第二園庭 遊具
特徴的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭的な雰囲気の中で、ドンボスコの精神に生き、一人ひとりが愛されていると実感できるカトリックの保育園 ・明るい雰囲気の中で神様の存在を知り祈る心、感謝する心、共感する心を育みながら心身ともに成長させること ・家庭や地域と連携し信頼される保育園になること ・障害保育を推進し、関係機関との連携を図っている。小学校との連携エコ活動 子育て支援 一時保育 学童保育（自主事業）

3 評価分類別評価内容

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針の確立	法人の理念や方針が分かりやすい言葉で、保護者や職員にもよく周知されています。
2 計画の策定	前年度評価と次年度目標が数値化され、目標達成シートを活用して、明確な行動計画を職員が参加して策定されています。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

1 経営状況の把握	法人内の研修において、福祉事業の動向を把握する取り組みが継続的に行われています。経営状況は良好で、地域の福祉ニーズにも迅速に対応されています。
2 人材育成と確保	永年勤続者が多数勤務している状況から、職員の処遇や働きやすい職場づくりに積極的に取り組まれています。人材確保については、明確なマニュアルと役割が策定されています。
3 安全管理	危機管理マニュアル及び感染症対策マニュアルが作成され有事の際の避難訓練や感染症研修に参加されるなどリスクマネジメント対応がされていますが、今後は責任者の明確化と役割分担の細分化を行い管理体制の更なる構築を期待します。
4 地域との交流と連携	地域自治会と連携を取り、交流を行事の中に取り入れられています。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者の尊重	子どもの権利擁護に関する記述が理念の中に明記され、就業規則の中に権利擁護に関する事項を掲げ、職員への周知を図られています。
2 利用者満足の上	定期的な保護者アンケートにより、利用者ニーズを把握し、記述と送迎時による保護者とのコミュニケーションも大切にされて、利用者の声を聞くことに努力されています。
3 サービスの質の確保	目標達成シートの活用や内部研修の充実など質の確保、向上への取り組みが行われています。
A 保育課程の策定	定期的な保育計画の見直しが施設長のリーダーシップの下で確認、作成が年齢や個別に行われています。
A 保育環境の配慮	子どもの主体的な遊びが繰り返される環境づくりに取り組まれています。また行事などの体験を通して、豊かな感性が育つための機会を十分に与えられています。
A その他	経験年数のある保育士による、子どもとの関わりが、子どもから目を離さずに言葉かけも適切に行われていました。

詳細は別紙「評価結果表」を参照。

評価結果票
【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		評価
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
	評価コメント 玄関入り口に法人のビジョン・ミッションが目届くところに掲示され書類等でも職員・保護者等へ周知されていることを確認しました。理念、基本方針は、保護者向けと子ども向けの内容が区別、整理され分かり易い内容となり、法人の精神が根付いている事が評価できます。	

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		評価
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
	評価コメント 法人内の事務研修や施設長研修が行われ、福祉事業における今後の動向を把握する取り組みも事業報告と聞き取りで確認しました。経営状況は、財務諸表を見ても良好であることが確認できます。定期的なアンケート調査にも取り組まれており、地域の福祉ニーズも把握する取り組みをされています。	
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
	評価コメント 理事会の資料、事業計画により役職員への周知が図られています。必要に応じて固定資産の整備が行われていることを事業報告の中で確認することができました。	

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		評価
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
	評価コメント 毎年、計画に対しての評価が数値で分かるように示されており、次年度計画に数値目標として反映されています。中・長期的な計画として、事業計画の中に策定されていることを確認しました。	
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
	評価コメント 単年度の計画は採点方式で評価されており、数値目標や具体的な評価をされています。	
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		評価
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
	評価コメント 事業計画策定・評価等において、役割別に評価が数値化されて、次年度計画が反映されていることが評価できます。事業計画策定に職員が参加していることが評価できます。	
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
	評価コメント 重要事項説明書に事業計画が明記されており、保護者に周知されている事が確認できました。	

評価結果票
【共通評価基準】

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		評価
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
評価コメント 各個人の目標達成シートにおいて施設長コメントが記述されており、組織的に自己評価と客観的評価が実施され、職員の課題や目標が明確になっている事を確認することができました。		
9	② 評価にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
評価コメント 評価結果にもとづく課題が事業計画の中で、組織的な改善策が明記されており、年次繰り返し見直されていることを確認しました。		

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		評価
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
評価コメント 施設長自らの評価において、今後の取り組むべき目標、課題を明確にし組織的な共通理解や連携の仕組みに取り組まれることを期待します。		
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
評価コメント 就業規則等に遵守すべき事項が明記され、職員会議で周知されていることを会議録で確認しました。		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		評価
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
評価コメント 全体的に経験年数の長い職員が多く、個々のリーダーシップが発揮されておりますが、職員を纏める施設長としての指導力が発揮されています。複雑な保護者対応や、地域の事など、施設長が動いて迅速に対応している事は、保護者アンケートにも記述されており、書類等にも細かいところまで施設長が確認されており、様々な場面でリーダーシップを発揮されています。		
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
評価コメント 定期的な人事考課の評価と状況場面に依じて職員の相談に応じている事を聞き取りの中で確認することができました。今後、施設長の意識が職員の中にさらによく理解されて信頼関係が深まっていくことに期待します。		

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		評価
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
評価コメント 実習生の受け入れに対する実績と受け入れ時のマニュアルが整備され、指導管理者を明確に指定されていることを確認できました。今後人材確保の観点から養成校との連携や実習内容の充実に取り組まれる事を期待します。		
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a
評価コメント 総合的な人事に関しては組織的な取り組みが専門部会や人事考課の中で行われており、それぞれの職務遂行能力に応じて職務分担され、個別と専門分野で明確に評価される仕組みができていた事が確認できました。		

評価結果票
【共通評価基準】

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		評価
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
<p>評価コメント</p> <p>年次有給休暇等の取得において、法人本部との連携が取れており、職員会議等で就業規則の内容を周知化され、法人独自の内部研修において状況を把握されている事で法令順守に対する取り組みに努力されている事を確認しました。今後保育士の働きやすい環境への取り組みが具現化されていく事を期待します。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		評価
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
<p>評価コメント</p> <p>職員育成の取り組みにおいて、具体的に目標が定められ評価見直しの仕組みが出来ている事を事業報告等の書類で確認することができました。目標管理シートを使用して施設長や主任保育士と共同で職員1人1人の表明した目標に対し、しっかりとコメントされている事や保育カリキュラム等に目を通され指導されている姿がありました。職員育成という概念が今後このような形で継続され、発展していく事を期待します。</p>		
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<p>評価コメント</p> <p>研修計画が職種、経験年数等が考慮され明確に策定されており、内部研修も充実していることが評価されていることを、書類で確認しました。</p>		
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
<p>評価コメント</p> <p>全体的に経験年数の長い職員が多い中で、子どもに対しての関わりや見守りがしっかりと行われている姿が保育現場に現れていました。今後世代交代の時期が来ることを予測して、現在における保育士不足の中で新任・中堅研修指導のあり方を準備・検討される事を望みます。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		評価
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
<p>評価コメント</p> <p>実習生受け入れの具体的な方法がマニュアル化され、担当の職員も明確に位置づけられていることを書類と口頭で確認しました。実習内容の周知においては、職員全体に周知され、クラス別において、同じ方法で行われていることを確認しました。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		評価
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
<p>評価コメント</p> <p>ホームページにおいて、財務諸表及び第三者評価の受審結果を公開していることを確認しました。また入園のしおりやホームページ・事業報告などにおいて施設の理念（ビジョン・ミッション）が、明文化されており、透明性がよく確保されています。</p>		
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<p>評価コメント</p> <p>理事会資料や会議録において、明確な経営・運営・経理・規定等が審議され、法人本部のチェック機構が適切に行われていることが確認できました。今後、法人本部との連携をさらに密接に行い、施設ニーズにおける課題や資質の向上が行われることを期待します。</p>		

評価結果票
【共通評価基準】

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		評価
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
評価コメント 東大宮地域自治区協議会との連携が年間行事の中に反映されており、子どもと地域の高齢者や住民の方との関わりが積極的に行われていました。また、まなざしブログの中で、森の図書館活動などの地域との交流を感じ取る事が出来ました。		
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
評価コメント ボランティアの受け入れの実績とマニュアルが作成されていることを書類で確認しました。また、内部研修においてボランティアの受け入れの在り方を周知されていることが聞き取りの中で確認できました。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		評価
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
評価コメント 子どもの育ちを卒園後も見守るための取り組みが放課後児童クラブ等の取り組みの中で行われていることを施設見学と聞き取りにおいて確認しました。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		評価
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a
評価コメント 書類やホームページ等において、地域との活発な交流がみられました。今後、園周辺の道路事情における防災への観点からルール作りの見直しや地域との連携により緊急時の避難等がスムーズに行われる仕組みが策定されることを期待します。		
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
評価コメント 利用予定者にアンケートを実施し福祉ニーズを捉える努力をされており、玄関入り口には自由に閲覧できるポスターやパンフレットが配置されており積極的なニーズの把握と子育て支援活動等に取り組まれている姿を確認することができました。		

III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		評価
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
評価コメント 国籍、障がい等の有無など、様々な子どもの権利擁護に対し就業規則において明文化され、ボール遊びを男女別に分けるなど性差の先入観による固定的な対応をしないように配慮されていました。		
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a
評価コメント 重要事項説明書において、個人情報保護が規定化されていることとヴィジョン・ミッションにおいて、子どもの権利擁護が明文化されていることを確認しました。今後、不適切な事案が発生した場合において、明確な方法が協議される職務分担がしっかりと機能し子どもの権利擁護について維持向上していく事を期待します。		

評価結果票
【共通評価基準】

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（決定）が適切に行われている。		評価
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
評価コメント 重要事項説明書を保護者全員に説明し同意書に署名・捺印するようになっておりました。新規入所希望者や施設見学者に対して個別のニーズにもしっかりと対応できる方法がとられていることが評価できます。		
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
評価コメント 重要事項説明書の中に保護者に伝えるべきことが明文化されています。今後、家庭背景や子どもの発達など状況に応じ、個別の説明に取り組まれることを期待します。		
32	③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b
評価コメント 卒園児のスムーズな移行を目指して、今後連携の仕組みや相談しやすい環境づくりに取り組まれることに期待します。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		評価
33	① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
評価コメント アンケート調査結果において、利用者が施設に対する満足度の高いことが確認できました。自由記述において、交通トラブルによる施設長の迅速な対応に保護者が施設全体に厚い信頼を寄せている記述があったように迅速で誠実な対応が一人ひとりの記憶の中に刻まれることが高く評価できると思います。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		評価
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
評価コメント 施設に設置されている意見箱は、プライバシーが守られ投函しやすい場所に配置されていました。直近の相談方法では、顔の見える風通しの良い利用者との関係を構築しようとする面談による相談を意識して実践されているところが共感できます。		
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
評価コメント 利用者が送迎の時に、職員が積極的に声をかける姿があり、日々のコミュニケーション努力こそが相談しやすい環境となっている事が理解できます。		
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
評価コメント 相談内容については、職員会議や部会等で話し合いが行われ迅速な対応については、施設長の先決により早期対応をされている事実があったことを聞き取りと会議録で確認しました。		

評価結果票
【共通評価基準】

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		評価
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<p>評価コメント</p> <p>危機管理マニュアルが作成されておりますが、リスクマネジメント体制に関する責任者の明確化やヒヤリハットの共有化についての見直しが明確な目標として定められておりますので、職員と共同で進めて頂きたいと思っております。</p>		
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p>評価コメント</p> <p>感染症対策がマニュアル化され、施設全体で行われていることを施設見学の中でも確認できました。感染症対策研修等に積極的に参加されています。今後、定期的なマニュアルの更新や責任者と役割分担を明確にした管理体制の構築に努力されることを期待します。</p>		
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<p>評価コメント</p> <p>防災計画の中で、利用者が災害時に避難するための取り組みが行われていることを確認しました。3階については子どもの利用はありませんが避難経路の確保として、整理整頓に取り組みしてほしいと思います。また、避難訓練や有事の際に連携が取れやすいように見えるところに役割分担が掲示されているとスムーズな避難誘導が行われると思います。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		評価
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	b
<p>評価コメント</p> <p>保育計画や各指導案においては施設長と主任保育士が定期的に確認され、クラス別に適切な評価が行われています。幼児期が終わるまでに育ってほしい姿が重要事項説明書に明記され定期的な見直しがされています。今後、保育実践において業務負担も考慮したうえで年間計画から月案、日案への展開の見直しが行われ、保育に活かされることを期待します。</p>		
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<p>評価コメント</p> <p>年齢別の保育記録が施設長、主任保育士と合意される仕組みが形成されていましたが、職員間での共有化や保護者からの意見や提案を保育ニーズの必要性を十分に協議したうえで反映されていく事に期待します。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		評価
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a
<p>評価コメント</p> <p>定期的に個別の指導計画が策定され、関係機関等と連携を取られています。今後、組織的なアセスメント手法を確立するためにマニュアル化するなどの計画の策定に努力されることに期待します。</p>		
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a
<p>評価コメント</p> <p>指導計画の見直しの際には二重線で消して赤や青で色分けされて次年度に生かされるように工夫がされています。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		評価
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<p>評価コメント</p> <p>年齢別における子どもの発達や個別の記録等が組織的に定められた様式で管理者の合意のもとに行われていました。情報分類の目標を策定され、職員の共有化に向けて取り組まれることを期待します。</p>		
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<p>評価コメント</p> <p>施設の個人情報保護規定が策定され、規定により職員関係書類、保護者関係書類等の管理体制、保存期間等が適切に行われていることを確認しました。</p>		

評価結果票 【内容評価基準】

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		評価
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
評価コメント		
保育所保育指針、理念（カトリックの精神）、方針に基づき関係職員参画のもと作成され、地域の実態や家庭状況の考慮がなされています。また、年度後半に見直しが行われ次年度へ生かされています。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		評価
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
評価コメント		
室内環境の記録が毎日、部屋ごとに行われ入園のしおりや重要事項説明書等に寝具などの持ち帰り等の清潔で心地よく過ごせる環境作りについて記載されています。		
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
評価コメント		
年度初めの4月に全家庭の面談を実施し保護者の意向や子ども一人ひとりの発達状況等を把握し尊重した保育が実践されています。子どもに対する言葉遣いや受け止め方などマニュアルに沿って行われています。		
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a
評価コメント		
絵本や教具を使用し基本的な生活習慣を分かりやすく働きかけ、計画や記録において一人ひとりの成長段階を考慮し環境構成や援助を行っています。		
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
評価コメント		
自由遊びの中で自発的な遊びが展開できるように環境整備や援助が行われ、思いやりの心の育成として人権教育計画が作成され、「自立心の育成」等の項目があり友達関係や社会的ルールが身につくように指導されています。また、一般企業などに日頃のお礼を兼ねて手作りプレゼントなどを持参する等の多種多様な方との社会体験の機会が設けられています。 室内環境については、コーナー保育やオープンなランチルーム等を設定し子どもが選択する機会を増やししながら、自主性を育てています。また園庭においては、園が市街地に所在しているにも関わらず木々や草花が豊かに茂り、子どもたちが四季の変化や命の大切さを自然に感じるよう工夫されています。しかし園庭において、危険と思われる箇所があったので、職員会等で話し合い、改善していくことが求められます。		
6	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
評価コメント		
一人ひとりの子どもの育成歴の違いに留意し、特定の保育士などが応答的に関わるように配慮され、看護師が配置され健康状態等の配慮が行われ家庭との連絡には連絡帳や朝夕の保育士との対応にて密に行われています。0歳児は特に月齢差が大きいため、成長も早いので後は生活と遊びの環境への工夫を期待します		
7	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
評価コメント		
子どもの発達状態に合わせた関わりと環境整備がなされ、職員配置もされています。また夕方などには以上児(3・4・5歳児)との関わりがあり、小中高生のボランティア受入がありました。家庭との連絡では毎日の連絡帳や送迎時の保育士との情報共有が図られています。今後、一人ひとりの特性に応じた養護と教育の提供に期待します。		

評価結果票 【内容評価基準】

A-1-(4) 食事		評価
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
評価コメント 食育計画に基づき夏野菜栽培や様々なクッキングが行われ食への関心が高められています。好き嫌いや食欲に応じて本人希望での量の調整が行われ、苦手なものが少しでも食べられるような援助がされています。保育士も一緒に食べるなど会話を楽しみながら食べる雰囲気づくりがされています。		
16	① 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
評価コメント 給食の残食を記録され、栄養士が給食と一緒に食べたり、状況把握のため観察が行われています。離乳食会議が行われ発達状況に配慮した献立、調理法の工夫がされています。また行事食を取入れたり、郷土食である冷や汁の季節感のある献立が提供されています。マニュアルに基づいた衛生点検が行われ適切に管理されています。		

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		評価
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
評価コメント 日々の情報交換が連絡帳を用いて行われ、保護者説明会（全体・クラス）、個人面談、親子遠足、保育参観オープン保育など保護者と直接関わる機会を設けられています。必要な記録は台帳に記載されています。		
A-2-(2) 保護者等の支援		評価
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
評価コメント 園・保育士等と保護者との信頼関係は日々のコミュニケーションにより良好に築かれています。相談等の際にはマニュアルがあり助言が行える体制が構築されています。保護者面談も年度当初に全員と行い10・2月に希望者と行われ、その他必要に応じて行われ記録は児童表に記載されていました。		
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
評価コメント 日々の保育の中で触診、視診や会話などで心身の状況把握がなされ、虐待等権利侵害が疑われるような場合には、マニュアルに沿って情報が園長、主任保育に必ず届くような体制とされています。また、処遇会議で情報共有や対応の統一が図られています。児童相談所等の関係機関との連携を図る取り組みがなされ、職員は処遇マニュアル等で理解が図られています。保護者には随時、園長や主任保育士と個人面談を行い、精神面・生活面の援助を行っています。		

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の評価)		評価
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b
評価コメント 日・週・月・年計画や記録で振り返る自己評価が行われ、次年度に向けて企画書(次年度目標)を3月に提出し10月に達成度の評価が行われています。園内研修等で手作り教具等の保育に関する研修が企画され職員間での意識向上に繋がっています。保育実践の振り返りや繋がりに生かされていますが、更なる学び合いや意識の向上、専門性の向上に努めることを期待します。		